



自好協
主学力

松ヶ枝

瀬戸内町立古仁屋中学校だより No.8
令和2年11月20日 発行

勉学の秋に

校長 竹ノ山 誠忠しげただ

先月は新型コロナウイルス感染症の影響で延期していた二年生の修学旅行、一年生の集団宿泊学習を実施しました。同行した修学旅行では、バス乗車時や施設入館時の手指消毒や検温など感染防止対策が徹底して行われ、また見学地は混雑もなく三密を避けられ、安心して旅行ができました。熊本城では、ボランティアガイドの方から城の造りや歴史、復旧工事の話を実際に聞いていました。長崎原爆資料館での研修や「平和の集い」を行い、戦争の悲惨さや平和の尊さを感じとったと思います。生徒は、行く先々で仲良く楽しく活動し、中学校生活の思い出の1ページをつくることができました。古仁屋中の生徒のよさが随所に見られた一方で、課題となったところは今後の学校生活で改善していきたいと思います。コロナ禍の中、保護者の皆様のご理解により実施できましたことに、改めて感謝申し上げます。

学これびて、時に之を習よるこう。また説よるこばしからずや。

中国、古代の思想家孔子（紀元前551～前479）の「論語」の冒頭に出てくる言葉で、「学習」の語源となったものです。「勉強したことを、復習する機会を逃さずに、何回も何回も、くり返し復習すると、いっそう理解を深めて自分の知識になる。これは、喜ばしいことではないか。」という意味です。

孔子は、一生をかけてくり返し、くり返し学ぶ中よるこに楽しみを見つけています。皆さんも、勉強していて、あるいはテストを受けて「分かった」「できた」という喜びや、「なるほど、そうなのか」という深く理解できた喜び、そういう感激を味わった経験があるでしょう。勉強して分かったら、もっと分かりたいという意欲が生まれます。そこでじっくりと考え、自分で解決しようとする時間をもつことで精神（心）が鍛えられます。複雑多様化するこれからの社会は、知識だけでなく、思考力や判断力、そして自ら学んでいく力が必要となります。そういう力を付けるためにも、家に帰って単に復習するだけでなく、自分で納得のいくまで考える習慣を身に付けてほしいと思います。



来週は二学期末テストです。計画的に復習して自分のものにしてテストに臨んでください。「〇〇の秋」の最後は、「勉学の秋」です。

ご家庭でも、ストグレ帳の点検と励まし・声かけをお願いいたします。

2年生修学旅行

10月27日(火)から
10月29日(木)まで

5月に実施予定の修学旅行でしたが、新型コロナウイルスの影響で10月27日から29日までの間に変更されました。無事実施でき一安心。

各地の自然や文化にふれ、班活動や集団行動を通して、集団生活における行動の在り方や健康・安全の大切さを学ぶことができました。

また、長崎の原爆の悲劇を知り、戦争の悲惨さと平和の尊さを実感できました。



大宰府天満宮にて



グリーンランドにて

1年生宿泊学習

10月28日(水)
10月29日(木)

宿泊学習も5月から変更して実施しました。オリエンテーリング、キャンプファイヤー、藍染めなどを体験し、奄美博物館では、奄美の歴史や自然について詳しく知ることができました。

様々な体験を集団で行って行く中で、自立心や責任感を身に着けることができました。また、仲間と協力しながら、他を思いやる様子が多くみられ、思い出深い宿泊学習となりました。



藍染め体験



キャンプファイヤー

進路説明会・進路講話

11月5日(木)に3年生親子進路説明会を開催しました。進学に必要な手続きの方法や入試に向けての心構えなどの説明がありました。



講話の様子

11月14日(土)には、古仁屋高等学校振興コーディネーターをされている高田浩平さんと土井小雪さんに「地域みらい留学生」の制度についてや「振興コーディネーター」という職業についてのお話をいただきました。

生徒会引継ぎ式

11月10日(火)

前生徒会長渡辺朝陽君から「伝統を大切にしながら新しいことに挑戦してください」と言葉をもらいました。



引継ぎの様子

新型コロナの影響で、各種行事が縮小される中、生徒会としても知恵を絞り挑戦してくれました。

新専門委員長・副委員長

委員会	委員長	副委員長
生活環境	斎藤 憲吾	益山 呼子
学習文化	徳重 海音	田淵 葵唯
保 体	有川 太進	岡野 美七海
図書広報	徳 琉惺	請島 心愛

12月行事予定

8日(火) 1・2年授業参観, 学年学級 PTA 学校保健委員会

12日(土) 教科オリンピック 人権講話

23日(水) 相撲大会・ダンス発表会

24日(木) 2学期終業式

28日(木) 仕事納め

29日～1月3日 学校閉庁

1月8日(金) 3学期始業式